

内面と外面、2つの異なる“盲目性”を考察する新感覚の朗読パフォーマンス 森山未来、ソロ初の全国ツアー『「見えない/見える」ことについての考察』 合同取材会オフィシャルレポート

2020年10月14日(水)～11月6日(金)に開催する森山未来によるリーディングパフォーマンス『「見えない/見える」ことについての考察』。ソロパフォーマンスとしては、初の全国ツアーで、<日常を失った世界に問う「本当に見る」とは>という問いかけとともに全国7カ所、38公演を行うことも話題の本公演の取材会を、9月16日(水)に行いました。



2017年、東京藝術大学の上野キャンパスにある球形ホールで初演され、注目を集めた本作。その成り立ちについて、「東京都現代美術館のキュレーターで、東京藝術大学の教授でもある長谷川祐子さんから、“朗読をしてみないか”と声をかけていただいて。球形ホールという特殊な空間で朗読する内容を話し合った時に、ジョゼ・サラマーゴというポルトガルの作家の『白の闇』、モーリス・ブランショというフランスの作家、というか哲学者の『白日の狂気』という本が出てきて。『白の闇』は、まさしくパンデミックというか、ある日突然世界中の人間が盲目になってしまって、そこからどう新しい社会を作っていくのか、どういう風に人と人が関わって生き延びていくのか、というようなフィクション的な作品。『白日の狂気』は、若干、散文詩的な作られ方をする、抽象的な意味合いの強い本ではあるんですけども。その中で僕が受け取った印象としては、日々生きていく中での、自分が本当に見ているもの、そして自分が見えていないものの内面的な盲目性っていうのを凄く考察している、もしくは考えているっていう印象を受けて。いわゆる外的な、物理的な要素として盲目になるという話と、内面的に盲目であるのではないかという二つの話を考察させたら面白いんじゃないかな、というところで。球形ホールという、言ってしまうと眼の中にあるような……僕はそういう印象をその空間から受けたので、そんな作品を創ってみたいかなっていうところから立ち上がってきました」と説明。

今回の再演に関して聞かれると、「去年は UAE のシャルジャでやらせてもらったので、作品が継続していくということは、ありがたいですし、素晴らしいことだなと思いつつ、2017年の初演時には2020年の状況がこうなるとはまったく想像はしていなかったですけど、いま世界中に置かれている状況、僕らが置かれている状況、これからどういう風に生きてくのか、ある種の価値観が変動していったことは間違いないなかで、改めてどういう風に生きていくべきか、手探りかもしれないですけど、いまこの状況においてこの作品をやる意味っていうのが、皮肉にも強く出てしまったんじゃないかなっていう印象はありますよね」とコメント。本作を楽しみにしているファンに向けては「舞台芸術はなかなか興行的な部分ではやりづらい位置にはあるんですけど、実際にこの場所で、そこで出会った人たちで、作品や世界を共有することの強さが舞台芸術にはあるので。それを映像に変換したとして、もちろんそれぞれの楽しみ方があるんですけど、その場所、この時間、ふれあいではか体感できないもの、そこに確かに存在するものがあって。前から思ってたことで、いま現在、より強く感じていて、その強度というか、生で出会えれば、出会えさえすれば、それだけで大丈夫なんじゃないかっていうぐらいの、それだけでいいんじゃないかっていうぐらいのことを思っていたりするので……。まあもちろん、それだけではなく、いま言った内容、コンセプトのパフォーマンスでもあるので、一緒にそういった時間を体験できればなど。非常に楽しみにしています」とメッセージを送りました。

俳優やダンサーとして第一線で活躍しながら、国境やジャンルを超えた表現に挑戦し続ける森山未来が織りなす、声と身体、光で感じる新感覚の朗読パフォーマンスをお見逃しなく。

■公演概要

【公演名】「見えない/見える」ことについての考察

【演出・振付・出演】森山未来

【キュレーション】長谷川祐子

【テキスト】ジョゼ・サラマーゴ「白の闇」(翻訳:雨沢泰、河出書房新社刊)

モーリス・ブランショ「白日の狂気」(翻訳:田中淳一 ほか、朝日出版社刊)

【共同振付】大宮大奨 【照明】藤本隆行 (Kinsei R&D) 【音響】中原楽 (ルフトツーク)

【映像】栗津一郎 【舞台監督】尾崎聡 【協力】藤井さゆり、三宅敦大 【制作協力】伊藤事務所

【企画・制作・主催】サンライズプロモーション東京

【公演日時・チケット料金】

横浜赤レンガ倉庫1号館3Fホール

共催:横浜赤レンガ倉庫1号館[公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]

10月	14(水)	15(木)	16(金)	17(土)	18(日)
14:00				●	●
15:00	★	●	●		
18:00				●	●
19:00	●	●	●		

平日 ¥6,500

土日 ¥7,000

★・・・オープニング公演

報道カメラや記者が同席する場合があります、写真に写りこむ可能性がございます。

サントミューゼ上田 大スタジオ

10月	21(水)	22(木)
15:00		●
16:00	●	
19:00		●
19:30	●	

平日 ¥5,500

愛知県芸術劇場 小ホール

共催:愛知県芸術劇場

10月	23(金)	24(土)	25(日)
14:00		●	●
16:00	●		
18:00		●	●
19:30	●		

平日 ¥6,000

土日 ¥6,500

あましんアルカイックホール・オクト

10月	27(火)	28(水)	29(木)
15:00		●	●
16:00	●		
19:00		●	●
19:30	●		

平日 ¥5,500

フェニーチェ堺 大スタジオ

共催:フェニーチェ堺

10月	30(金)	31(土)	11/1(日)
14:00		●	●
16:00	●		
18:00		●	●
19:30	●		

平日 ¥6,000

土日 ¥6,500

スカラエスパシオ

11月	3(火)
16:00	●
19:30	●

祝日 ¥5,500

長崎市チトセピアホール

11月	5(木)	6(金)
15:00		●
16:00	●	
19:00		●
19:30	●	

平日 ¥5,500

【チケット購入 URL】 <https://eplus.jp/mienaimieru/>

【イープラス独占先着先行】 2020年9月19日(土)12:00~9月25日(金)18:00

【チケット一般発売】 2020年10月3日(土) 10:00~

【公式HP】 <https://mienai-mieru.srptokyo.com/>

【お問い合わせ】 サンライズプロモーション東京 0570-00-3337 (平日 12:00-15:00)

■プロフィール

森山未来 (もりやま・みらい)

1984年、兵庫県出身。5歳から様々なジャンルのダンスを学び、15歳で本格的に舞台デビュー。2013年には文化庁文化交流使として、イスラエルのテルアビブに1年間滞在、インバル・ピント&アヴシャロム・ポラック ダンスカンパニーを拠点にヨーロッパ諸国にて活動。ダンス、演劇、映像など、カテゴリに縛られない表現者として活躍。

近作として、初監督作品ショートフィルム「Delivery Health」(9月20日公開)、武正晴監督作品映画「UNDERDOG」(11月27日公開)などがある。

miraimoriyama.com <<http://miraimoriyama.com/>>



(c) Takeshi Miyamoto

【報道関係者向けお問合せ先】

株式会社サンライズプロモーション東京 広報宣伝部 担当:磯貝・石澤

TEL: 080-5887-1865 (石澤) /MAIL: ishizawa-s@sunrisetokyo.com